



高野山米国別院

高野山真言宗北米大陸開教百十周年記念事業 黄檗鉄眼版大般若波羅蜜多經全六百卷 御寄進のお願い

遠い昔、西遊記でおなじみの、中国の玄奘三蔵法師(げんじょうさんぞうほうし)が、さまざまな身の危険と困難を克服しながら、はるかインドへと旅をしてお釈迦さまの素晴らしい教えが書かれた御経文を持ち帰られました。

玄奘三蔵は、持ち帰ったお経の翻訳作業にその生涯の半分をささげられ、そうして出来上がったのが大蔵經(だいぞうきょう)であり、その最初の600巻が“大般若波羅蜜多經”(だいはんにゃはらみったきょう)です。このお経には、仏教の大切な教えが説かれており、また私たちが日頃よく読誦したりお写経をされる“般若心經”も、この大般若經の中心となる教えを説いたものであるといわれています。

古来より、この大般若經六百巻を使って大般若転読法会(だいはんにゃてんどくほうえ)を執り行い、世界の平和と万民の幸せを祈願するにとどまらず、私たちのご先祖さまの菩提供養のために、または家内安全、商売繁盛、交通安全、身体健全などの祈願のために大般若転読会を執りおこなっています。

皆様もご承知のごとく、来たる二〇二二年は高野山真言宗の北米大陸における開教百十年という記念すべき年となります。1912年に青年僧・青山秀泰先生がロスアンゼルスに大師教会を創建され、日米大戦・栄枯衰勢を経て、現在では北米西海岸に6つの寺院がお大師様の教えを広めんとして懸命に活動を続けているところでございます。

まさに高野山真言宗北米開教の歴史は、お大師様の教えを信仰してこられた全米にいらっしゃる多くの信者様方の、血と・汗と・涙の結晶であると深く心に感じているところであります。

このたび、高麗版大般若波羅蜜多經(こうらいばんだいはんにゃはらみったきょう)600巻を新調し、北米開教の第一歩を踏み出した高野山米国別院ご本尊大日如来様の御宝前に、有縁の皆様の尊い浄財により大般若經六百巻をご寄進賜り、お施主様各家のご先祖さまの菩提供養、またお施主様各位の家内安全、厄除開運をご祈願させていただこうと発願させていただきました。

御奉納いただきました各経巻には、ご奉納者ご芳名、各家精霊ご芳名及び御戒名、またはご祈願事を記帳させていただきます、米国別院の存する限り常備し、祈願し、活用させていただきたいと存じます。

この大きな善根となる法縁に、ご尊家はもちろんのこと、類縁者の方々にも是非お誘いいただき、一人でも多く仏縁を結んでいただければ幸甚でございます。

皆様のあたたかいご理解、ご協力を伏してお願い申し上げます。

合掌

第十代高野山米国別院主監
松元優樹

高野山米国別院理事長
鳴海 リチャード